

少年の立ち直り・健全育成 大学生ボランティアとは？

確認！

警察では、少年の非行防止と健全育成を図るため、関係機関・団体、地域社会と連携して、学習支援や各種体験活動などによる立ち直り支援を行っています。特に大学生ボランティアは、少年と年齢が近く、これらの活動を通じて信頼関係が構築され、少年の立ち直りに重要な役割を果たしています。

初めて田植えをしたけど、いがいと楽しかった。自分のまわりに知らない人がたくさんいたけど、みんな話しかけてきてくれたりしてくれた。みんなやさしかった。

受験が終わったら、最後にお姉さんに会って、きさんと挨拶したいです。

優しく話を聞いてくれてうれしかったです。また、お姉さんと一緒に活動したいです。

お兄さんと話しているうちに、いろいろなことをやってみようと思えたよ。



この活動をもっと沢山の人の知ってもらって、同じように悩んでいる子供と保護者の助けになればいいと思う。

check

少年・保護者の感想

good

息子が、自分の意思で悪い言いを断ることができたと話してくれた時は、本当にうれしかったです。大学生ボランティアの方に感謝しています。

☆☆さんへ。一緒に遊んでくれてありがとう。立派な中学生になります。

大学生体験談

私は虐待やいじめなどを含むトラウマ体験について学んでおり、将来はこうした体験をした人への支援が行える臨床心理士を目指したいと思っています。ボランティア活動を通して実際に子供たちと関わりたいと考え、活動に参加しました。居場所づくり活動で小学生の女の子とクリスマスケーキを一緒に作る機会がありました。この女の子は、家庭の経済状況などの環境が厳しく、ご両親にもなかなか構ってもらえていませんでした。最初に会ったときは、緊張している様子で、私から話し掛けても小さくうなづくだけでした。私は女の子が少しでも安心できるような雰囲気をつくるのが大切だと感じ、笑顔で積極的に話しかけ、また、小さなことでも何か

できたら褒めてあげるようにしました。すると、だんだん女の子のほうから自分のことを話したり、私の手を取って「フルーツを切ってみよう」と言ってくれたり積極的に取り組んでくれるようになりました。またケーキづくりの後では、「お姉ちゃんと一緒にオセロをやりたい」、「次は折り紙で遊ぼう」など、女の子の方から私に積極的に関わったり、甘えたりしようとしてくれるようになりました。女の子にとって、少しでも安心できるお姉さんのような存在になれたのではないかと感じました。私にとっても、少年警察ボランティアでの活動は様々な問題を抱える子供と接することができ、貴重な経験となりました。限られた時間ではありますが、今後のボランティア活動に生かしていくことができればいいなと思っています。 ●平成30年度「全国少年警察学生ボランティア研修会」発表より

